

1 月市長定例記者会見要旨

と き 平成30年1月5日（金）15時～16時 ところ 庁議室

1. 新年のあいさつ

あけましておめでとうございます。本年も何とぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、仕事始め式の職員に対する訓示で、私は大きく2点について述べました。まず一つは、組織は一体となり、組織内の不祥事に対し賞罰を明らかにするなど、組織をしっかりと締めていかねばタガが緩み、何かが起こってしまうということです。我々は7万3,000市民のため奉仕する公務員であり、公務の職を全うする使命感を持ってもらいたいということです。もう一つは、「活気応変」です。世の中にはどんな活気があるのかを見つけ、佐伯市の活気を創っていくことを新しい田中市政の出発点における基礎としていきたいということです。

市民の皆様と手を取り合って、また、職員一丸となって、佐伯市の活性化・発展に邁進してまいる決意を新たにしております。

2. 昨年を振り返って

市長就任から約9か月、日々、忙しく過ごしてまいりました。

市町村合併後、財源の面では合併特例債に頼ってきたところがありますが、今後、自主財源の確保にさらに努めていく必要があると思います。また、自立心に富んだ住民のパワーを市政に生かす必要を感じているところです。

さらに、昨年は自然災害が多く発生しました。ハード、ソフト両面からの災害対策を一層進めていかなければならないと考えております。

3. 新年（平成29年度～30年度）の主な取組について

(1) 防災面の取組

①台風18号被害からの復旧・復興

災害救助法の対象となったものが46件。復旧工事を進めていく。

②避難タワー整備

池船避難タワー：29年度中に工事発注、30年度供用開始予定

女島避難タワー：30年度に設計、31年度供用開始予定

③防災・行政ラジオの普及促進

H29.12.20現在 申請15,792件、設置13,575件（世帯数29,574件）

市内のほとんどの世帯に設置したい。

(2) インフラ整備

①ケーブルテレビ施設の光ケーブル化

29年度基本設計、30年度実施設計（メイン放送センター整備と本匠地域の光化）

※その後、財源を確保しつつ順次実施予定

②コミュニティバスなど公共交通網の利便性向上

現在策定中の「地域公共交通網再編実施計画」に基づき、公共交通網の整備・見直しを図る。

③道路・河川・橋梁等の整備

- ・市道小半線道路改良事業（小半鍾乳洞付近の通行止対策として橋梁を新設）
- ・橋梁の長寿命化・耐震化（佐伯大橋及び側道橋、中川橋など）
- ・「佐伯市トンネル長寿命化修繕計画」に基づき、31のトンネルの長寿命化を進める（30年度は小浦中越ふれあいトンネルなど）

(3) 大手前開発事業

①（仮称）大手前まちづくり交流館の建設

一流の文化・芸術に触れる機会の提供の場、市民の文化・芸術活動の拠点とする。施設を生かすための充実した企画立案を図る。

[スケジュール]

平成30年3月 建築工事等の契約締結

〃 4月 建築工事着工

平成32年3月 建築工事完了

〃 秋 開館、記念イベント実施

(4) 少子高齢化・人口減少対策

①子育て世代に向けた取組

保育所・放課後児童クラブの整備、保育士の確保

②高齢者に向けた取組

- ・医療・介護従事者不足の解消など
- ・老人クラブ等、活動の核となる組織の充実

③地域経済の活性化

- ・地場産業の活性化、企業誘致、創業支援
商工会議所、商店街との連携強化
- ・地域産業教育の推進
小・中・高・大学までの各段階を踏まえた職業教育
- ・担い手・リーダーなどの人材育成と確保

(5) 観光産業の振興

①既存の資源と観光の視点との連携による産業の高付加価値化と情報発信

豊かな食・自然・ブランド品をワンパックにして国内外へ売り出す。

②ユネスコエコパーク・日豊海岸国定公園を活用したグリーンツーリズムやブルーツーリズム

③インバウンドの推進

・台湾プロモーションを契機とした取組

大手自転車メーカーとの交流強化、ツールド佐伯への呼び込み

・九州オルレさいき・大入島コース〔3月10日（土）コースオープン〕

(6) 国民文化祭・全国障害者芸術文化祭

・H29年10月から国民文化祭・障害者芸術文化祭準備室を設置し、実施事業について協議・調整中（例：佐伯まちなか芸術祭、さいき大茶会、市民ミュージカルほか）

・芸術文化の「佐伯ルネサンス」となるように

(7) 第2次佐伯市総合計画の策定

①平成30年度から10年間のグランドデザイン

②市民の声を反映した計画づくり

③地域別計画の策定による地域振興

※最終案を3月議会に提出